

**主題：**  
**諸召会における失敗、召会の墮落、**  
**召会における勝利者、召会の回復、召会の各段階**

メッセージ 11

召会の回復

(3)

パウロの完成する務めの中心的なビジョンの実際を見る、そしてその中で生きる

聖書：使徒 9:1-19. 22:6-16. 26:13-19

- I. パウロの完成する務めの天のビジョンはわたしたちによって見られなければなりません。またこのビジョンはわたしたちの中で日ごとに更新されなければなりません——使徒 26:19. エペソ 1:17. 箴 29:18 前半：
- A. 時代のビジョンは、わたしたちを神の臨在の中に生きさせます。このビジョンは、わたしたちを保持し、わたしたちを制御し、わたしたちの神聖な使命となって、この時代の必要を満たします——エレミヤ 1:7-10, 18-19. イザヤ 6:1-8. 使徒 26:16-19.
- B. わたしたちが神のご計画のビジョンを見て、あらゆるものからキリストご自身へと転向させられるとき、彼はわたしたちに対して内側で働く神となって、わたしたちを活気づけて、彼のご計画を達成させます——ガラテヤ 1:15-16. ローマ 15:16. I コリント 15:10. ペリピ 2:13. 参照、エレミヤ 1:1, 4-10, 18-19.
- C. 最終的に、反対するパウロは彼の福音の勝利を得た務めにおいて、キリストのすべての敵に対する彼の勝利を祝賀する凱行進においてキリストの征服されたとりことなりました。主がそのような方法で彼の選びの器を成就することは、卓越しており、素晴らしいことです——使徒 26:14. II コリント 2:14. エペソ 4:7-12.
- II. タルソのサウロがダマスコの途上にあった時、天のビジョンが彼に来て、このビジョンは彼に大変革をもたらしました——使徒 9:1-19. 22:6-16. 26:13-19：
- A. 彼はビジョンを見た後、盲目になって何も見ることができなくなり、また無能になって何もすることができなくなりました。祝福された盲目は天のビジョンに出会った者の上に臨みます：
1. この盲目がわたしたちの上に臨んだ後、内なる油塗り、内なる輝き、内なる照らしがあるようになります。かつて神の敵であったわたしたちは、新約の務めの祝宴の中へともたらされて、キリストの命の中で救われます——14 節. ローマ 5:10. I コリント 5:8. 参照、列王下 6:18-23.
2. 内なるビジョンは、ますます増し加わり、わたしたちが主に仕える方法に大変革をもたらします。このビジョンはわたしたちを制御して、あらゆる事をその霊によって、わたしたちの霊の中で、からだの中で、からだを通して、からだのために行なわせます——ガラテヤ 5:25. ペリピ 3:3. ローマ 1:9. I コリント 12:12, 27.
- B. 三日間、サウロは何も見ることができず、また何も食べたり飲んだりすることがで

きませんでした。彼にできたのは祈ることだけでした——使徒 9:9, 11 :

1. 本質上の霊の靈感の下で、彼の唯一の関心は、彼が見聞きしたものの意義を知るために祈ることでした——22:14-15。
  2. サウロが祈っていた時、神の具体化であり神の奥義であるキリストと、キリストのからだでありキリストの奥義である召会に関して、ビジョンに次ぐビジョン、啓示に次ぐ啓示がおそらく彼に来たのでしょう——コロサイ 2:2. エペソ 3:4. 5:32。
  3. 使徒行伝第 9 章に記録されたパウロのビジョンのそれぞれの重要な点は、わたしたちにとって単なる教えであるべきではなく、わたしたちが天的な「テレビ」で見るビジョンであるべきです。
- C. 使徒行伝第 9 章を読んでいるとき、わたしたちは三つの項目、すなわち、「わたし」(4 節)、「イエス」(5 節)、「選びの器」(15 節)に関して天のビジョンを見る必要があります。

### Ⅲ. 「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか？」——4 節 :

- A. これは、主なるイエスと彼のすべての信者から成る団体の「わたし」です。彼はかしらであり、わたしたちは一つのパースン、一人の新しい人としての彼のからだです——エペソ 2:15. コロサイ 3:10-11。
- B. サウロ (パウロでもある) は、主イエスと彼の信者たちが一人の大いなる人——不思議な「わたし」であることを見始めました。彼にとって、これは宇宙全体における唯一の啓示でした——使徒 13:9 前半. I コリント 12:12-27. エペソ 3:3-4. 5:32。
- C. パウロは「キリストのからだ」という用語を用いた新約の唯一の著者です。彼がからだを大いに強調したのは、彼の回心の時、団体の「わたし」に関するメッセージ、すなわち、キリストのからだに関するメッセージを聞いたからです——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12-27. エペソ 1:22-23. 2:16. 4:4, 16。
- D. サウロが救われた直後に、主はキリストのからだに関して彼を教育し始めました。自分たちがからだの肢体であることを見た者たちは、からだを大切にし、他の肢体を尊びます——使徒 9:6, 17-18, 24-25. I コリント 12:23-24. 16:18。

### Ⅳ. 「『主よ、あなたはどなたですか?』。すると主は言われた、『わたしはあなたが迫害しているイエスである』」——使徒 9:5 :

- A. ここの「主」は、ヘブル語の「エホバ」という言葉に等しいです——出 3:14-15. ヨハネ 8:58。
- B. イエスという名は、福音の満ち満ちたメッセージを具体化しています。パウロは、イエスがエホバ救い主であることと、今や天におられる方として、彼がキリストのからだを生み出し、建造するために、肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天という過程を経過したことを見ました——ローマ 9:5. エペソ 1:19-23。
- C. パウロは、イエスがまさにエホバなる神であり、手順を経て、神と人の要素をもって究極的に完成されて、昇天された主、からだのかしら、命を与える霊、イエスの霊となり、彼のすべての肢体の中へと分与されたことを見ました——ローマ 10:12-13. コロサイ 1:18 前半. I コリント 15:45 後半. 使徒 16:7. ピリピ 1:19。
- D. パウロは、宇宙の中心が、わたしたちの中のキリストであり、またキリストの中の

わたしたちであることを見ました。彼は、神のご計画が、命であるキリストをわたしたちの中に啓示して、わたしたちがキリストを生きるようにすることであり、またわたしたちをキリストの中へと入れて、わたしたちが彼のかたちへと同形化され、他の人たちと共に建造されて、彼の生けるからだとなって、彼を団体的に表現することであるのを見ました——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19. ローマ 8:28-29. 12:1-5. エペソ 1:22-23. 3:16-19。

**V. 「この人は……わたしの選びの器である」——使徒 9:15 :**

A. 神がタルソのサウロを救った意図は、ご自身をもって彼を満たすことであり、それによって彼を卓越した器とすることでした——コロサイ 1:25. エペソ 3:8-9。

B. パウロの文書は、「器」という言葉の霊的な意義を発展させています :

1. パウロは、人が、命であるキリストを内容とし満たされ、キリストのからだの建造のためである三部分から成る器であることを見ました——創 2:7. I テサロニケ 5:23-24. ローマ 9:21, 23. II コリント 4:7. II テモテ 2:20-21. 参照、列王下 4:1-6. エレミヤ 48:11。

2. キリストのからだは神の大きな団体の器であり、彼を内容とし満たされて、彼を表現します——エペソ 3:16-19。

C. 神の選びの器として、パウロはあらゆるものからキリストご自身へと転向させられました。すなわち、彼の御名を呼び求めることへと、彼の御名のために苦しむことへと、異邦人と王たち、イスラエルの子たちの両方の前で彼の御名を担うことへと転向させられました——使徒 9:14-16. 22:16。

**VI. 使徒パウロの完成する務めの中心的なビジョンは、わたしたちの内容としてわたしたちの中にある神（「器」）と、神の奥義としてのキリスト（「イエス」）と、キリストの奥義としての召会（「わたし」）です——9:4-5, 15 :**

A. 使徒行伝におけるパウロの宣べ伝えと書簡における彼の文書は、彼によって見られた天のビジョンの詳細な記述です——使徒 26:16. 22:15. エペソ 3:3-6。

B. 主がパウロに現れたのは、主を見た事と、主が彼に現した事について、彼を奉仕者、証し人として定めるためでした——使徒 26:16. 参照、1:8. 23:11. 20:20, 31。

C. パウロが見たすべてのビジョンにおいて、彼はキリストを見ました。わたしたちがキリストを見た事と、主がわたしたちに現した事は、わたしたちが他の人たちに供給しなければならない事です——ガラテヤ 1:15-16. 使徒 22:14-15。

**VII. 今日の主の回復は、パウロの完成する務めの中心的なビジョンの回復です——26:13-19. コロサイ 1:25. エペソ 5:32 :**

A. 召会の回復において、わたしたちは、キリストのからだ、神の宮、神の家を建造しています——4:12-16. ヨハネ 2:19-21. I コリント 3:9-12, 16-17. I テモテ 3:15-16。

B. 召会の回復には王国の生活の設立が含まれています——ローマ 14:17 :

1. 「霊の中で貧しい人たちは幸いである。天の王国は彼らのものだからである」——マタイ 5:3 :

a. わたしたちは人の霊において貧しくあり、空にされ、荷が下ろされて、天の王国を認識し、所有する必要があります——参照、19:13-15。

b. もしわたしたちが霊の中で貧しいなら、天の王国はわたしたちのものです。わ

たしたちは今、召会時代の中で、その実際の中におり、またわたしたちは王国時代においてその実現にあずかるでしょう。

- c. 霊の中で貧しいとは、わたしたちがへりくだっており、何も持たず、何も知らず、何もできず、何者でもないことを意味します——ガラテヤ 6:3. ヨハネ 15:5 後半. イザヤ 57:15. 66:1-2。
  - d. わたしたちは自己満足、過去の事柄に満足することを恐れるべきです——ピリピ 3:13。
  - e. 霊的な停滞は、自分自身の霊的な欠乏に対する無関心の結果です。すべての失敗と退廃は、自己満足の結果です——参照、申 4:25 (回復訳、フットノート 1 を参照)。
  - f. 過去の勝利は決してわたしたちの現在の力となることができません——参照、ヨシュア 7:3-4 (フットノート 1 を参照) . 9:14 :
    - (1) わたしたちは主を知る新しい知識と主の新しいビジョンなしに前進することができません——参照、使徒 26:16. ピリピ 3:8 後半, 10 前半。
    - (2) わたしたちが泣きながら「わたしにはできません」と言う自分を見いだすときはいつも、わたしたちの進歩が始まります。それから、神は容易にわたしたちの中に彼のための願いを生み出すことができます——参照、歴代下 20:12。
    - (3) わたしたちが覚えておくべきことは、神がわたしたちに困難を与えるのは、わたしたちの中でさらに深く掘るためであり、それによって神はご自身をもってさらにわたしたちを満たすことができるということです——参照、ローマ 8:28-29。
2. 「心の純粋な人たちは幸いである。彼らは神を見るからである」——マタイ 5:8 :
- a. 純粋な心を持つとは、わたしたちの心が単一で、主ご自身以外に何も追い求めず、それはキリストが何の妨げもなく、わたしたちの中で成長するためであることを意味します——13:19-23。
  - b. もしわたしたちの心が神を追い求めることで純粋であるなら、神を見るのがわたしたちの褒賞となります :
    - (1) 神を見ることは神を得ることに等しく、神を得ることはわたしたちが神格においてではなく、命と性質において神となるためです——Ⅱコリント 3:18。
    - (2) わたしたちは神を見れば見るほど、ますます自分を忌み嫌い、否みます——ヨブ 42:5-6。
  - c. わたしたちの霊的な進歩は、わたしたちの心がどれほど神に向けられているかにかかっています——マタイ 4:17. Ⅱコリント 3:16—4:1. 参照、列王下 23:25。